

「学びの教室」

通信

No.9

令和5年1月10日
特別支援教室「学びの教室」
巡回指導拠点校・通級指導校
文京区立駒本小学校
校長 篠遠 信行
文京区立汐見小学校(巡回校)
校長 山田 晴康

駒本小学校特別支援教室直通電話 3827-5575 (ファクシミリ兼用)

今年もよろしくお祈いします

年が明け、2023年(令和5年)となりました。保護者の皆様におかれましては、3学期も特別支援教室「学びの教室」の教育活動に、ご理解ご協力をよろしくお祈いします。

昨年度の新年号では「新型コロナウイルス感染症は、オミクロン株の市中感染への警戒を強めなければならないなど、一向に収まる気配が見られません。引き続き、特別支援教室における各教育活動については、感染予防に万全を期して進めてまいります。」と記しましたが、今年も同様のようです。国内におけるワクチン接種は5回を数え、間もなく4年目に突入するこのコロナ禍が、今年こそは、何とか収束に向かうことを祈るばかりです。

さて、昨年末に開催した駒本小学校エリア第1回保護者学習会には、たくさんの方にご参加いただきました。ありがとうございました*。当日の講師の先生の講演の中で、子どもたちの安心基地として、親子間の共有関係の大切さが取り上げられていました。「旅行に行く、趣味の展覧会に見に行く、本を読む、自転車に乗る、絵を描く、好きなアーティストのコンサートに出かける」などが例として挙げられ、さらにそこからサードプレイス(同好の士が集う場などを指します)につながることもあると紹介されていました。

学校生活における友人関係も子どもたちにある程度の影響を及ぼしますが、保護者の方々は最も身近なモデルとして大きな影響を与えます。お子さんが、余暇などをうまくもてないようなときは、保護者の方々の趣味の世界に引っ張ってあげるのはいかがででしょうか。様子を見ながら、検討していただければと思います。

*裏面にお寄せいただいた感想(メッセージ)をまとめてあります。



<3学期特別支援教室指導開始日について>

2月下旬から駒本小学校の多目的ホールの使用が育成室とのタイムシェア制度に移行することに伴い、一部の曜日・グループについては、指導開始が繰り上がります。学級担任と調整の上、該当のお子さんのご家庭には、電話などで直接ご連絡いたしますので、ご承知おきください。

<保護者の皆様へ 定期個人面談>

1月21日(土)から3学期の定期個人面談を行います。今回は、後期(全期)個別指導計画の評価に

ついて家庭と特別支援教室で共通理解を図ります。利用児童の全家庭が対象となりますので、別途配布の「個人面談のお知らせ」をご覧ください。締め切り日までに[日程調査票](#)をご提出ください。

<1月のコミュニケーションタイムの主な学習予定>

「学びすごろく2023」

毎年、子ども達に大人気のすごろくのシーズンがやってきました。昨年までの「すごろくの神様からの指令」(特定のます目に止まったときの指示)には、「時計などを見ずに10秒数える。」「紙テープを指定された長さピッタリに切る。」「早口言葉『この釘は引き抜きにくい釘だ』を3回繰り返す。」などバラエティに富んだものがありました。「神様からの指令」は、活動にゲーム性という要素を加えるだけでなく、社会性を育んだり各種の感覚を鍛えたりすることもねらっています。今年はどうのような「指令」が用意されていたか、ご家庭でお子さんに尋ねてみてください。なお、これまで同様、複数の道筋がある場合に自分の駒を正しい方向へ動かしたり、ます目を間違えずに数えたりする空間認知に関する能力の向上も図ります。

*学習指導要領「自立活動」

- 2 心理的な安定 (1) 情緒の安定に関すること
- 3 人間関係の形成 (3) 自己の理解と行動の調整に関すること
(4) 集団への参加の基礎に関すること
- 4 環境の把握 (2) 感覚や認知の特性についての理解と対応に関すること
- 6 コミュニケーション (5) 状況に応じたコミュニケーションに関すること

*保護者学習会メッセージカードより一部抜粋しました。(紙幅に限りがあり、文意に影響がない程度にまとめてあります)

- ・友達との関係が充実してきたこともあり、親と少し距離ができてきたように思います。我が子の表現に戸惑うこともありますが、思春期の入口と捉えると、安心できそうです。
- ・とても勉強になりました。
- ・失敗や苦手を親子でプラスに認識できるよう視野を広げていきたいと思いました。
- ・多くのお子さんに共通する思春期特有の問題と、個々の発達の特性による課題を区別することは、難しそうだと感じました。
- ・親の言うことを聞かなくなることは心配でしたが、成長の一つということを改めて確認できて安心しました。
- ・心も離れてしまうのかと心配していましたが、どっしり構えていこうと思えました。
- ・我が子が、今後「自分とは何か」を突き詰めた時に立ち直れなくなるのではないかと感じています。家でできることはなるべくやりたいと思っていますが、限界を感じています。
- ・具体的な変化が理解できて良かったです。
- ・「フロアからの質問」がとても良かったです。
- ・大変、参考になりました。あっという間の2時間でした。
- ・いろいろ試してみたいと思います。
- ・思春期に入ってから課題や変化を知ることができ、心構えができました。
- ・安心基地の基盤をつくることの大切さについて改めて考えさせられました。
- ・特性がある中で、好きなことや得意なことを今から認めてあげて、親も共有しながら伸ばしてあげたいです。
- ・大変興味深い内容のお話が伺えて満足しております。励みとなりました。

以上